

集落営農法人による子実とうもろこしの生産

(山形県：農事組合法人ひまわり農場)

取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
			○		

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

<取組主体について>

- 所在地：山形県真室川町大字及位487-6
- 代表者：代表理事 佐藤 孝和
- 経営面積 R3：約190ha（主食用米、転作大豆・園芸作物）
うち飼料作物作付面積：66ha
（子実とうもろこし25ha、飼料用米(SGS用)21ha、牧草20ha）※他に稲わら収集受託47ha
- 雇用者数：24名（R4.2時点）（パート含む）



コーンヘッド装着ハーベスタによる収穫

<取組について>

- 概要
 - 平成6年に中核的農業者5名による水稻作業受託集団をベースに機械設備の集約化と共同作業による効率化を目指し「ひまわり農場」設立。地域の担い手として広範な農地を請け負う。経営方針として「耕作放棄地は出さない」「米からの脱却」「耕畜連携」を掲げる。
 - 平成20年に町で飼料米SGSの取組みが始まり、飼料用米の作付けを開始。
 - 平成22年に「農事組合法人 ひまわり農場」に改組、地域初の集落営農法人化。
 - 平成30年に子実とうもろこしの栽培を開始。初年は3haを作付け、播種や収穫作業は大豆に使用する汎用機のアタッチメントを交換して行った。
 - 令和元年は13haに作付け、収穫物は大豆乾燥機を使用して乾燥したものをフレコンバッグに封入して、需要者の畜産農場へ供給。
 - 令和2年は25haに作付け、収穫機のヘッド部分を専用コーンヘッドに交換して作業効率を大幅に向上。また複数品種の比較圃も設置して、生産性と作業体系の改善に向けた調査も実施。
- 今後の課題
 - 需要に応える生産量拡大（単収向上、作付面積拡大に対応できる装備、保管場所確保）。

